

# NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 1 LESSON 1 授業例②

A.T. 先生

## 指導計画表

(全7時間)

時間	学習内容・主な活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GET Part 1</li> <li>聞いてみよう</li> <li>文法の導入</li> <li>本文の導入</li> <li>語句・表現の導入</li> <li>本文の理解</li> <li>音読練習</li> <li>話してみよう</li> <li>まとめ (Writing)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GET Part 2</li> <li>復習</li> <li>聞いてみよう</li> <li>文法の導入</li> <li>本文の導入</li> <li>語句・表現の導入</li> <li>本文の理解</li> <li>音読練習</li> <li>話してみよう</li> <li>まとめ (Writing)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GET Part 3</li> <li>復習</li> <li>聞いてみよう</li> <li>文法の導入</li> <li>本文の導入</li> <li>語句・表現の導入</li> <li>本文の理解</li> <li>音読練習</li> <li>話してみよう</li> <li>まとめ (Writing)</li> </ul>

時間	学習内容・主な活動
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GET Part 1</li> <li>聞いてみよう</li> <li>文法の導入</li> <li>本文の導入</li> <li>語句・表現の導入</li> <li>本文の理解</li> <li>音読練習</li> <li>話してみよう</li> <li>まとめ (Writing)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コミュニケーション活動</li> <li>カードゲーム</li> <li>数のカルタ</li> <li>数のビンゴ</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>■We're Talking 1</li> <li>復習</li> <li>文法の導入</li> <li>本文の導入</li> <li>語句・表現の導入</li> <li>本文の理解</li> <li>音読練習</li> <li>Exercise</li> <li>まとめ (Writing)</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>■単元プリント・ワーク</li> </ul>

## 実践例

### 1. レッスンでねらったこと

- (1) あいさつの仕方を理解できる。
- (2) am / are を理解し、am / are を使って自己紹介したり、気持ちや状態を伝えたりすることができる。
- (3) 登場人物になったつもりで音読できる。
- (4) 数字を覚えることができる。

### 2. レッスンで力を入れようと思ったこと

小学校の英語活動で素地ができた生徒達に、自然に、そして楽しく授業を行い、中学校の英語が決して難しくないと思えるよう努めた。また、「聞く」・「話す」が中心だった小学校と違い、「読む」・「書く」を徹底していかなければならないので、音と文字の結びつきや、正しい文を書けるよう、基礎をしっかり定着させるよう努めた。そのため、全生徒が正しく書けるよう、机間巡視をしながら綿密に個別指導を行った。

#### GET Part 1

##### ○ プレ活動

- ・この課で学ぶことを確認する。
- ・設定場面を理解させる。

##### ○ 聞いてみよう

- ・CD を聞かせ、線で結ばせ確認する。
- ・できない生徒がいても、これから勉強していくから大丈夫、と安心させる。

##### ○ 文法の導入

- ・教師が自分の名前を使って導入する。
- ・笑顔で表情豊かに導入し、楽しい雰囲気を作る。

##### ○ 本文の導入

- ・ピクチャーカードを用いて、生徒とインタラクションを取りながら、本文を導入する。
- ・生徒から答えが返ってきたら、大いに賞賛し意欲を育てる。

##### ○ 語句・表現の導入

- ・フラッシュカードを用いて、発音練習を行う。繰り返し行い、正しく読めているか、全体→個人と

確認をする。英語→日本語、日本語→英語の練習も行う。

##### ○ 本文の理解

- ・概要を把握させる。
- ・K-U-M-I と区切って言った理由を考えさせる。

##### ○ 音読練習

- ・最初はフレーズで切りながら、ゆっくり読み、徐々に早くし、登場人物になったつもりで気持ちをこめて読ませる。
- ・look-up から暗唱へ導く。(絵も使用)
- ・全体で練習後、ペア練習→発表を行う。
- ・向かい合い、アイコンタクトを取らせながら発表させる。
- ・発表の良かった点を具体的に指摘し、自信を持たせる。

##### ○ 話してみよう

- ・練習後、男女2名ずつと会話をさせる。
- ・生徒達は少しはにかみながらも、意欲的に楽しそうに取り組んでいた。

##### ○ まとめ (Writing)

- ・POINT の文を板書し、文を書く上での基本的なことを強調する。
- ・日本語と英語の語順の大きな違いを徹底する。
- ・自分の名前も正しく書けるようにさせる。
- ・机間巡視して、生徒が書いたものをチェックしていく。
- ・ピリオドがない生徒や大文字や小文字のミスが見られる。場合によっては、ノートを提出させ点検する。
- ・正しく書けたら大いに賞賛し、自信を持たせる。
- ・早く書けた生徒は、見ないで文が書けるよう何度も練習させる。

#### GET Part 2

##### ○ 復習

- ・前時とは違う生徒3人と、あいさつし握手する。  
Hello. I am Ken. Nice to meet you.  
Hello. I am Kumi. Nice to meet you too.
- ・生徒達は、前時よりもスムーズに、自信をもって取り組んでいた。

- ・ I am (自分の名前) . の文を小テストする。  
採点は教師が行い、細かく確認する。

### ○ 聞いてみよう

- ・ CD を聞かせ、A～C から選ばせ確認する。
- ・ 各国についても軽く触れ、外国への関心を高める。

### ○ 文法の導入

- Are you from Japan? Yes, I am.
- Are you from ~? No, I am not.
- ・ 地名を変えて聞き、Are you ~? と答え方を何度も口頭練習する。

### ○ 本文の導入

- ・ ピクチャーカードを用いて、生徒とインタラクシオンを取りながら本文を導入し、概要を取らせる。

### ○ 語句・表現の導入

- ・ フラッシュカードを用いて、発音練習を行う。
- ・ the や from の発音、Australia が日本語にならないよう注意させる。

### ○ 本文の理解

- ・ 概要を把握させる。
- ・ 大切な部分にはアンダーラインを引かせ、強調する。

### ○ 音読練習

- ・ 語や文の強勢、文の抑揚も意識させる。
- ・ 登場人物になったつもりで、気持ちをこめて読めるよう練習させる。
- ・ 不十分と思われる箇所はフィードバックして、徹底させる。
- ・ 生徒達は、協力し合いながら、楽しそうに練習していた。

### ○ 話してみよう

- ・ モデル文の練習後、ペアで会話をさせる。
- ・ 時間まで交代で何度もやらせた。生徒達は笑顔で取り組んでいた。

### ○ まとめ (Writing)

- ・ POINT の文を板書し、巡回指導を行う。
- ・ クエスチョンマークやコンマ、ピリオドを忘れる生徒が多いので、十分気を付けさせる。

## GET Part 3

### ○ 復習

- ・ 友達と Are you~? を使って問答させる。

- ・ 前時に予告しておいた小テスト (Are you from~? と答えの文) を行う。

### ○ 聞いてみよう

- ・ CD を聞かせ、○×を書かせ、確認する。

### ○ 文法の導入

- ・ 教師が「私は～ではありません」と、実際に自分の状態を表現して導入する。その際、表情やジェスチャーで、状態をわかりやすくする。

### ○ 本文の導入

- ・ ピクチャーカードを用いて、生徒とインタラクシオンを取りながら、本文を導入する。
- ・ 概要を把握させる。

### ○ 語句・表現の導入

- ・ フラッシュカードを用いて、発音練習を行う。
- ・ 特に、文字と発音の違いや英語独特の発音に気を付けさせる。
- ・ 単語のスペルの覚え方 (語呂合わせ等) も指導する。

### ○ 本文の理解

- ・ 生徒に質問しながら概要を把握させる。
- ・ ほめられたら Thank you. とお礼を言うといった、日本人と異なる文化的相違にも生徒は関心を示した。

### ○ 音読練習

- ・ 最初はフレーズで切りながらゆっくり読み、徐々に早く読ませるようにする。また、登場人物になったつもりで気持ちをこめて読ませる。
- ・ Really? は生徒達もかなり感情を入れて読み、授業が盛り上がった。

### ○ 話してみよう

- ・ 練習後、何人かにインタビューさせる。
- ・ 友人の状態を当てられると、得意そうだった。
- ・ 進んでデモンストレーションする生徒達がいた。

### ○ まとめ (Writing)

- ・ POINT の文を板書し、要点をまとめる。
- ・ not を入れる位置を徹底する。
- ・ 巡回していくと、thirsty のスペルミスとピリオドのつけ忘れが多かった。
- ・ 書き終わったら何度も練習させ、次回の小テストを予告する。

**WORDS & SOUNDS 1****○ 復習**

- ・【Rows & Columns】Are you happy? 等と尋ね、わかった生徒は挙手し、一番早かった生徒が答え、row か column を選択し全員着席するまで行う。
- ・生徒達は、我先にと挙手し、元気よく答えた。
- ・小テスト (GET 2 POINT の文) をして回収。後で教師が採点。

**○ 数字の発音練習**

- ・フラッシュカードを用いて、発音練習を行う。
- ・正確な英語の発音を身に付けさせる。
- ・綴りと発音の関係、eight の黙字等に気を付けさせる。
- ・一度に実施すると生徒の負担が大きいため、0~10, 11~19, 20~100, 1000 に分ける。
- ・-teen と -ty のアクセントの位置の違いに気を付けて、聞かせたり発音させる。
- ・発音練習後、英語を言って日本語にしたり、日本語を言って英語にする活動をペアで行う。
- ・生徒達は助け合いながら楽しそうに取り組んでいた。
- ・机間巡視しながら、質問に答えたり、難しい発音を個別指導する。
- ・全員で 0 から数字を言わせる。

**○ CD を聴いてリポートする**

- ・教科書 p.22 の 1・2 を CD の後について練習する。

**○ 電話番号を聞き取り、言う**

- ・教師が、学校や架空の番号等を言い、生徒に聞き取らせる。
- ・友達同士、同様の活動を行う。
- ・ほぼできていたが、8 と 9 を混同する生徒がいた。

**○ Writing**

- ・必修単語を一行ずつ書かせる。
- ・特に「one」「five」「nine」などの「silent “e”」や、「eight」の「黙字」に注意を払わせる。
- ・覚えやすいよう、語呂合わせも紹介する。
- ・余裕がある生徒には、必修単語以外の数字も書かせる。
- ・残った時間は練習にあて、巡回指導しスペルが合っているか全員チェックする。

**○ コミュニケーション活動****○ カードゲーム (資料 1)****○ 数のカルタ**

- ・数字を書いたカードをグループ数作り、教師が言った数字のカードを取らせる。
- ・生徒達は積極的に取り組んだ。
- ・お手付きは 1 回休みとする。
- ・2 度行い、1 回目より多く取れるよう頑張らせる。
- ・13 と 30 等が間違いやすかった。

**○ 数のビンゴ**

- ・5×5 のマスに英語で数字を書かせ、数を言いビンゴを目指させ、Writing と Listening 力の向上を図る。
- ・生徒はビンゴやゲームが好きなので、喜んで取り組んだ。

**We're Talking 1****○ 復習**

- ・小テスト (予告通り、数の必修語の中から数題書かせた。)

**○ 文法の導入**

- ・教師が自分の名前を用いて、「私は～です。～と呼んで下さいね。」と導入する。また、生徒に呼ばれたい名前を聞き、その名を使って練習する。

**○ 本文の導入**

- ・ピクチャーカードを用いて、生徒とインタラクションを取りながら、本文を導入する。

**○ 語句・表現の導入**

- ・フラッシュカードを用いて、発音練習を行う。
- ・会話で大切な「謝る表現」を徹底させる。

**○ 本文の理解**

- ・概要を把握させる。

**○ 音読練習**

- ・気持ちをこめて音読させる。

**○ Exercise**

- ・教科書の練習後、自分が呼ばれたいニックネームを使って友達と会話させる。
- ・皆、喜んで会話していた。発表も積極的だった。

**○ まとめ (Writing)**

- ・Talking Point の文を、自分の名前と呼ばれたいニックネームで書かせる。

- ・机間巡視して，一人一人ノートをチェックする。

#### 単元プリント・ワーク

- ・単元プリントを実施し，評価し，フィードバックに生かした。
- ・間違った問題や書けなかった単語は，何度も練習させ，定着を図った。
- ・ワークブックは，巡回個別指導を行ったり，提出させ，朱書き指導を行った。

### 3. 振り返って

- ・全体的に，楽しく授業ができたので良かったと思う。生徒達も笑顔で活発に授業に取り組んでいた。
- ・「聞く」・「話す」・「読む」の分野はだいぶ定着しているが，「書く」分野が不十分な生徒もいるので，地道に繰り返し練習させ，力を付けていきたい。